

生徒のみなさんへ、6月1日学校再開に向けて

2020（令和2）年5月27日

谷林 眞理子

自宅での「Web 等による課題授業」に加え外出自粛が続いていますが、自粛による疲れは出ていませんか？ 入学式も、始業式も出来ないまま約二か月間臨時休校が続きましたが、いよいよ生徒のみなさんの元気な笑顔が見られると思うと、先生方もわたしもうれしく思います。

桜の季節も過ぎ、今多摩キャンパスは檜並木の新緑が美しい季節になりました。「Web 等による課題授業」により皆さんの主体的な学びが発揮されたのは素晴らしいことだと思いますが、生徒のみなさんの元気な姿があってこそその学校です。生徒が登校して、教室で担任と顔を合わせて授業を行いつつ、クラスの絆を深め、全員で一体になって様々な行事を行うことによって作り上げるのが学校生活です。

現在の新型コロナウイルスの感染状況は下降線をたどってはいますが、緊急事態宣言が解かれたからといって、再び首都圏の感染状況が再び増加して第二、第三の波が来ないとも限りません。学校再開後、以前と同じような学校生活が送れるようになるには時間がかかるでしょう。学校における学習も課外活動もコロナ前に戻るのではなく、発想の転換や新たな学びや取り組みが必要になってきます。

6月1週目より学年ごとに週1～2回の半日登校を開始し、その他の曜日は自宅にて「Web 等による課題授業」を続けていく予定です。教室換気や消毒、大教室の使用など、生徒の皆さんが安心して登校できるよう万全を期しています。

学校再開時の時間割は在校生のページをご覧ください。